



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3521 URL <http://www.econach.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥村英夫
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 佐々木憲一 TEL 03-6418-4391
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	870	11.2	192	68.6	186	52.5	151	27.2
2019年3月期第2四半期	782	△15.4	114	57.8	122	123.3	119	44.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 151百万円 (27.2%) 2019年3月期第2四半期 119百万円 (53.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	3.56	—
2019年3月期第2四半期	2.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,166	3,852	74.6
2019年3月期	5,077	3,700	72.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,852百万円 2019年3月期 3,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,720	0.4	280	47.7	270	45.9	150	△14.5	3.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	42,728,733株	2019年3月期	42,728,733株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	16,786株	2019年3月期	16,786株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	42,711,947株	2019年3月期2Q	42,711,947株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景として、緩やかな景気の回復基調にありましたが、海外情勢の不確実性や相次ぐ自然災害による影響などもあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループでは主力の温浴事業を柱として経営の効率化を図り、不動産事業及び繊維事業と併せて売上拡大と利益の確保を目指してまいりました。

温浴事業では、東京都新宿区歌舞伎町で事業展開する温浴施設「テルマー湯」が2019年8月において、オープンから4周年を迎えました。当第2四半期連結累計期間における来館者数は、前年同四半期に比べ4.8%増加して16万5千人を数え、順調に伸長しております。当事業におきましては、マッサージ・エステにおいて新メニューを多数投入したほか、ヨガレッスンや占いなどの館内イベントにも力を入れ、利用者の拡大に努めました。また、ラグビーワールドカップの影響などで急増している外国人旅行者の受け入れも積極的に行いました。その結果、売上高は前年同四半期に比べ13.5%増加し7億5千4百万円、営業利益は前年同四半期に比べ54.6%増加し1億8千1百万円となりました。

不動産事業では、東京都港区西麻布に所有するビルのテナント料及び住居部分の賃料につきまして、継続して安定した収入を得ることができ、売上高は前年同四半期に比べ0.6%増加し9千9百万円となりました。また、営業利益につきましては、前第2四半期連結累計期間に計上した販売用不動産の評価損が当第2四半期連結累計期間には発生しなかったこともあり、前年同四半期に比べ21.5%増加し7千4百万円となりました。

繊維事業では、依然としてレース素材の需要の減少が回復せず、非常に厳しい状況で推移いたしました。そのような中、小ロットの特殊品の受注を重ねるなど需要の掘り起こしを図りました。また、秋冬物の見本を企画し受注の期待をいたしました。売上目標には至りませんでした。その結果、売上高は前年同四半期に比べ14.0%減少し1千5百万円、営業損失は1百万円（前年同四半期は営業損失562千円）となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同四半期に比べ11.2%増加し8億7千万円となりました。営業利益は前年同四半期に比べ68.6%増加し1億9千2百万円、経常利益は前年同四半期に比べ52.5%増加し1億8千6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ27.2%増加し1億5千1百万円となり、2000年の中間連結決算開始以来、第2四半期連結累計期間としては営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも過去最高となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加などにより前連結会計年度末と比較して8千9百万円増加し、51億6千6百万円となりました。負債は、長期借入金の減少などにより前連結会計年度末と比較して6千2百万円減少し、13億1千4百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末と比較して1億5千1百万円増加し、38億5千2百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、1億9千2百万円増加し、7億9千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、2億6千9百万円（前年同四半期は2億4千6百万円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益の増加及び売上債権の増減額の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1千1百万円（前年同四半期は3百万円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、6千6百万円（前年同四半期は9千1百万円の使用）となりました。これは、長期借入金の返済による支出であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	599,886	792,091
受取手形及び売掛金	66,481	47,176
商品	2,244	3,102
貯蔵品	974	1,039
その他	5,492	8,361
貸倒引当金	△1,303	△1,032
流動資産合計	673,774	850,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,155,911	2,069,821
機械装置及び運搬具（純額）	72,261	66,160
工具、器具及び備品（純額）	38,720	32,781
土地	1,880,811	1,880,811
建設仮勘定	—	11,750
有形固定資産合計	4,147,704	4,061,325
無形固定資産		
借地権	83,445	83,445
ソフトウェア	5,352	4,448
電話加入権	1,933	1,528
無形固定資産合計	90,731	89,423
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	167,114	166,872
貸倒引当金	△2,202	△2,197
投資その他の資産合計	165,512	165,274
固定資産合計	4,403,948	4,316,022
資産合計	5,077,723	5,166,760

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,218	38,038
1年内返済予定の長期借入金	113,400	113,400
未払金	45,309	33,728
未払法人税等	8,274	35,349
賞与引当金	3,279	3,264
役員賞与引当金	—	217
株主優待引当金	13,926	8,246
ポイント引当金	4,916	5,624
その他	59,016	55,286
流動負債合計	295,341	293,154
固定負債		
長期借入金	764,450	698,300
資産除去債務	153,878	154,724
再評価に係る繰延税金負債	25,970	25,970
繰延税金負債	40,728	39,307
長期預り金	96,919	102,919
固定負債合計	1,081,946	1,021,221
負債合計	1,377,287	1,314,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,347,561	3,347,561
利益剰余金	205,999	357,948
自己株式	△2,235	△2,235
株主資本合計	3,651,325	3,803,274
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	49,109	49,109
その他の包括利益累計額合計	49,109	49,109
純資産合計	3,700,435	3,852,384
負債純資産合計	5,077,723	5,166,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	782,976	870,483
売上原価	585,552	597,117
売上総利益	197,423	273,366
販売費及び一般管理費	83,236	80,847
営業利益	114,187	192,518
営業外収益		
受取利息	2	3
支払手数料返還金	16,005	—
未回収利用券受入益	1,838	621
貸倒引当金戻入額	388	617
その他	1,201	709
営業外収益合計	19,435	1,951
営業外費用		
支払利息	10,751	7,628
その他	774	598
営業外費用合計	11,525	8,227
経常利益	122,097	186,242
特別損失		
減損損失	3,964	—
固定資産除却損	276	11
特別損失合計	4,240	11
税金等調整前四半期純利益	117,856	186,230
法人税、住民税及び事業税	1,034	35,702
法人税等調整額	△2,596	△1,420
法人税等合計	△1,561	34,281
四半期純利益	119,417	151,948
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,417	151,948

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	119,417	151,948
四半期包括利益	119,417	151,948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,417	151,948
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	117,856	186,230
減価償却費	104,800	99,371
減損損失	3,964	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,392	△276
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	△15
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	217
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△2,576	△5,680
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	—	707
受取利息及び受取配当金	△2	△3
支払利息	10,751	7,628
有形固定資産除却損	276	11
たな卸資産評価損	13,322	—
売上債権の増減額 (△は増加)	27,762	19,304
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,261	△922
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,957	△9,179
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△6,262	△1,396
長期預り金の増減額 (△は減少)	4,232	6,000
その他の資産の増減額 (△は増加)	△506	△1,894
その他の負債の増減額 (△は減少)	△21,018	△13,069
小計	247,753	287,034
利息及び配当金の受取額	1	3
利息の支払額	△10,699	△8,826
法人税等の還付額	10,869	—
法人税等の支払額	△1,295	△8,626
営業活動によるキャッシュ・フロー	246,629	269,584
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,680	△10,880
無形固定資産の取得による支出	—	△350
差入保証金の回収による収入	424	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,256	△11,230
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△91,512	△66,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,512	△66,150
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	151,861	192,204
現金及び現金同等物の期首残高	393,442	599,886
現金及び現金同等物の四半期末残高	545,304	792,091

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。